日本原子力研究開発機構　敦賀教育支援チーム発行　No.7　2024年3月

きょういくしえんだより

出前授業「放射線の性質と利用」
～角鹿中学校２年生・３年生編～

1月18日(木)に2年生、2月28日(水)に3年生の出前授業にお伺いしました。
今回の学習テーマは「放射線の性質と利用」で、まずは放射線が生活に利用されていることをお話ししました。医療現場ではＸ線やＣＴ画像による診断やがん治療、農業分野では品種改良や発芽抑制、害虫駆除など、工業では測定および検査やタイヤなどの自動車部品の強度増加で活用されていることを学んでもらいました。

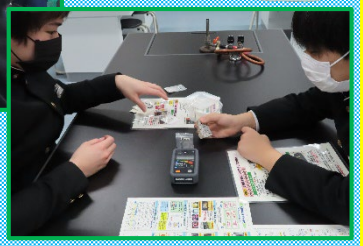
2年1組

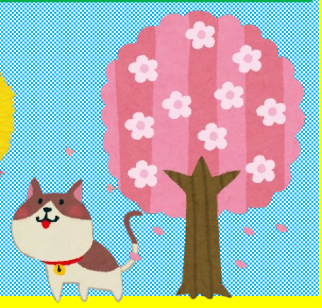
2年2組

放射線が飛んでいる様子は目に見えませんが、飛んだあとの飛跡を観察する実験をしました。蓋付きのシャーレにエタノールの気体を閉じ込めてドライアイスで下の方を冷やすと、放射線の粒子が飛んだあとに飛行機雲のように白い筋ができます。個人実験でみなさんが観察できました。また、２人ペアで放射線測定器を使って自然放射線や線源から出る放射線の量を測定する実験にも挑戦してもらいました。

3年1組

3年2組



～本日の講師：重神先生より～

放射線は怖いものという考えが先になってしまいがちです。今回測定したように、宇宙や地球の岩石からの自然放射線は常にあります。医療・農業・工業などでの有効利用も必要です。
正しい知識を身に付け、危険のない取り扱いを工夫して有益に利用できるようにしていきたいですね。